



<https://douzou.jp/>

# 隼人族の森を渡る風

上床 利秋  
連載エッセイ 第114回

## キヌガサタケマニアを発見

キノコの女王と呼ばれるウスキシヌガサタケは宮崎県の加江田溪谷近辺にも生息している。昨年六月のエッセイでも紹介した神秘的で魅力的なこの生き物は、食べられるからと持って帰る輩たちによって絶滅の危機に瀕してしまっただろう。だから本当に自然を愛しているマニアたちが、特定してしまえる箇所を教えてくださいませんかと思っ

た。  
六月の早朝、空振り覚悟で溪谷に探しに行ってみた。すると駐車場で偶然、五月から十月まで雨の日も含めほぼ毎日キヌガサタケを探して歩いているという超マニアックで元気なおば様二人組に出会った。今年はすでにそのタマゴを発見しているという。私がそれを一目見たくて鹿児島から来た話をする二人から、今から共にそのタマゴを覓に行こうと提案していただいた。歩きながら特別に興味深い話をしてくださった。箇条書きにすると、

- ① この付近のウスキシヌガサタケは五月から十月まで発見できる。  
去年は通算百十一本の成長を見届けた。
- ② 七月頃に最も発現し、五、六月は少ない。
- ③ 雨の日の翌日は特に発見しやすい。
- ④ なぜかお盆の二週間前後は発見できない。
- ⑤ それぞれに成長の個体差があって、数時間でゆっくり開くものもあれば、成長の早い個体では、風もないのにグレバ(頭)が伸びてきた後に、プルッと震えて特徴であるレースがバラッと降りるところを短時間で見ることもある。
- ⑥ 発見場所周辺を翌年探すと、同じ時期にこのタマゴを発見しやすい。

ほぼ毎日山を散策されている二人組はとても楽しそうに、そして興味深く話してくれました。その日、途中で溪谷を行き交う人々はお互いに顔なじみのようだった。山を愛する人々のコミュニティが出来上がっていることを察した。

加江田溪谷は緑が濃く、深い。その自然を愛する人々の心も温かく、深い。

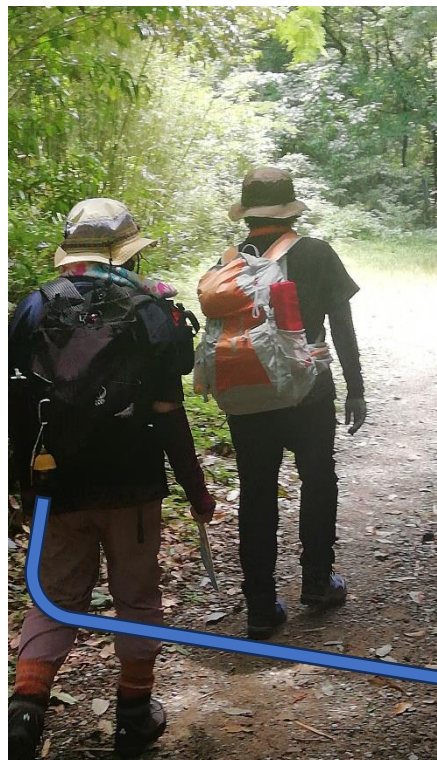
2026年6月



ウスキシヌガサタケの  
タマゴ (2026.6.13.)



ウスキシヌガサタケ  
(©ひろパパ)  
今回は発見ならず。



散策途中でお世話になった  
山ガールさんたち  
キーホルダーは旦那様からの  
プレゼントだそうです。

